

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	新型インフルエンザ対策事業			シート番号	011-231
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策
				課	評価責任者(課長名)
					中井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成21年の豚インフルエンザの流行を契機に、対策を行うため当事業を開始した。また、平成24年に制定された「新型インフルエンザ等特別措置法」に基づき策定した「新型インフルエンザ等対策行動計画」に沿って、新たな新型インフルエンザの発生に備え、その対策を講じる必要がある。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	新型インフルエンザの脅威から市民の生命を守り、健康・生活を保持するため、可能な限り感染の拡大を抑制し、健康被害を最小限とするともに、社会活動や経済活動への影響を最小限とするため、新型インフルエンザ発生時に迅速かつ適切な対応を行うことができるようにすること。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	新型インフルエンザの発生に備え、必要な資材の備蓄及び体制の整備等を行う。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					

Ⅲ. 投入量

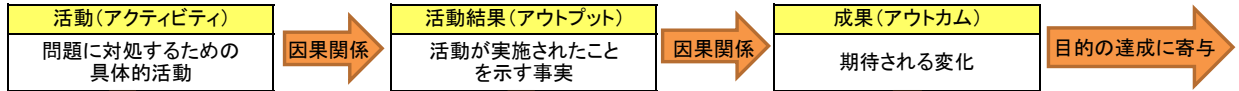
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	1,000	858	1,000	803	903	629	952	
主な事業費内訳	需用費	千円	920	783	920	788	798	629	847
	その他(役員費等)	千円	80	75	80	15	105		105
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	1,000	858	1,000	803	903	629	952	
12 人件費 (b)	千円	9,020	9,020	7,380	7,380	7,290	7,290	7,380	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,020	9,878	8,380	8,183	8,193	7,919	8,332	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	新型インフルエンザ対策事業	シート番号	011-231
-------	---------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	令和2年1月以降、国内でも新型コロナウイルス感染症の患者が発生し、2月以降は本市内においても患者が発生、感染の拡大が見られた。本事業において備蓄してきた資材を活用し、医療資材の不足している医療機関に対し迅速に提供することが可能となった。また平時より、個人防護服(PPE)の着脱や患者搬送について想定訓練を行ってきたが、新型コロナ陽性患者の搬送の必要が発生した際にスムーズに対応することができた。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		備蓄用サージカルマスクの購入数	枚	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績値	50,000	50,000	20,000	20,000
				達成率	100%	100%	40%	40%
				評価	良い	良い	悪い	悪い
		算出方法・設定根拠など						
		新型インフルエンザ発生時に疫学調査及び患者搬送を行うために必要な資材の在庫を確認し、今年度購入が必要とされたサージカルマスクの購入及び保管を行った。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		備蓄用個人防護服(PPE)セットの購入数	セット	目標値	250	250	250	250
				実績値	250	250	250	250
				達成率	100%	100%	100%	100%
				評価	良い	良い	良い	良い
		算出方法・設定根拠など						
		新型インフルエンザ発生時に疫学調査及び患者搬送を行うために必要な資材の在庫を確認し、今年度購入が必要とされた個人防護服(PPE)セットの購入及び保管を行った。						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	備蓄用サージカルマスクの購入数	枚	50,000	50,000	20,000
	②	上記①にかかる年間経費	千円	270	260	106
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5	5	5
	備考(算出についての説明等)					
区分						
18	①	備蓄用個人防護服(PPE)セットの購入数	セット	250	250	250
	②	上記①にかかる年間経費	千円	513	513	523
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,052	2,052	2,092
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>海外でのエボラ出血熱やMERS発生及び近年の感染症を取り巻く状況もあり、庁内及び庁外の関係機関との訓練を実施し、連携の強化を図ることができた。 その成果として、新型コロナウイルス感染症の対策において、本事業にて実施してきた資材の備蓄や訓練により、未知の感染症への対応でありながら、医療機関への医療資材の提供や陽性患者の搬送にあたって、大きなトラブルや事故なく進めることができた。</p>
----	---

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	新型インフルエンザ対策事業	シート番号	011-231
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 今回の新型コロナウイルス感染症対応に見られるように、今後新型インフルエンザや、世界もしくは国内で例のなかった感染症が発生した際、検査、治療を行う医療機関の医療資材の不足や、保健所による患者搬送が発生すると考えられる。備蓄がなければ当然医療機関等へ迅速に提供することは難しく、また、実地での訓練がなければ、PPEの着脱や感染防止対策に習熟度の低い職員で対応することになり、ウイルス曝露などの感染事故が発生しかねない。事業を継続し、常時備えのある状況を維持することが重要である。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 新型コロナウイルス感染症の流行に見られたとおり、新しいウイルスの発生及びそのウイルスの引き起こす感染症のまん延は、「いつ・どこで」の見通しを立てることが困難であり、「いつでも・どこでも」一定対応可能としておく必要がある。したがって、単に財政上の課題解決のために事業を休止することには、危機管理の観点から重大な問題があると考えられる。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 備蓄資材の購入にあたっては、より多数の業者で見積合わせを行うなど、コスト縮減の余地がある。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 本事業は、新型インフルエンザ等の発生に備え、必要な備蓄や体制の整備を行うものであり、実施手法は限られるため改善の必要はない。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> コロナ禍を受け、新型インフルエンザをはじめとした未知の感染症の発生に備えた対策も重要なことが再認識された。医療機関や他自治体との情報交換などを通じて連携を深め、有事の際にスムーズに動きが取れるようにしておく必要がある。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	コロナ禍の経過を振り返り、未知の感染症に備えるため、必要となる医療物資を備蓄していく。また、保健所等関係職員の個人防護具着脱、患者搬送訓練を適時適切に実施していく。		